

1本のリボンで 編むラベンダー

スティック



HITOMI-ART





1本で編むラベンダースティックの作り方をご紹介します。

13本以上あれば形のいい

ラベンダースティックができます。

(ラベンダーの状態により本数は調節してください。もっと少なくても良い時もあります)

香りが長持ちするし、ラベンダーを茎から花の部分まで

そのものを活かしたスティックになっているところが素敵なところだと

思います。

ラベンダースティック作りにはラバンジン系のラベンダーが向いています。

花は咲ききっているよりも、つぼみの方が多く

花が咲き始めの方が香りが良いです。

用意するもの：

ラベンダー奇数本（**13本以上**）

ハサミ

5mmか6mm幅のサテンリボン180cm

ゴム 軍手 新聞紙

糸（グレー・薄緑・薄紫などの目立たない色）



ラベンダーを長めに切ります。



葉がたくさんついているので



根元に向かってしごとと葉は簡単に取りれます。

(軍手など手袋を着けてください)

中途半端な位置にある花芽も一緒に取ります。



葉がなくなった状態



奇数本ずつを形良く束にしてゴムで留め、扱いやすくするために
茎の根元を切り揃えておきます。

茎がしんなりと折り曲げやすくなるまで

1～2日乾燥させます。(折り曲げてもポキッ、と折れない茎であれば
この作業は省いて構いません)

奇数本：今回は17本で1組にしました。1本ずつ互い違いに
リボンで編むため、
奇数でないと2段目に入った時にきちんと
編めなくなります。

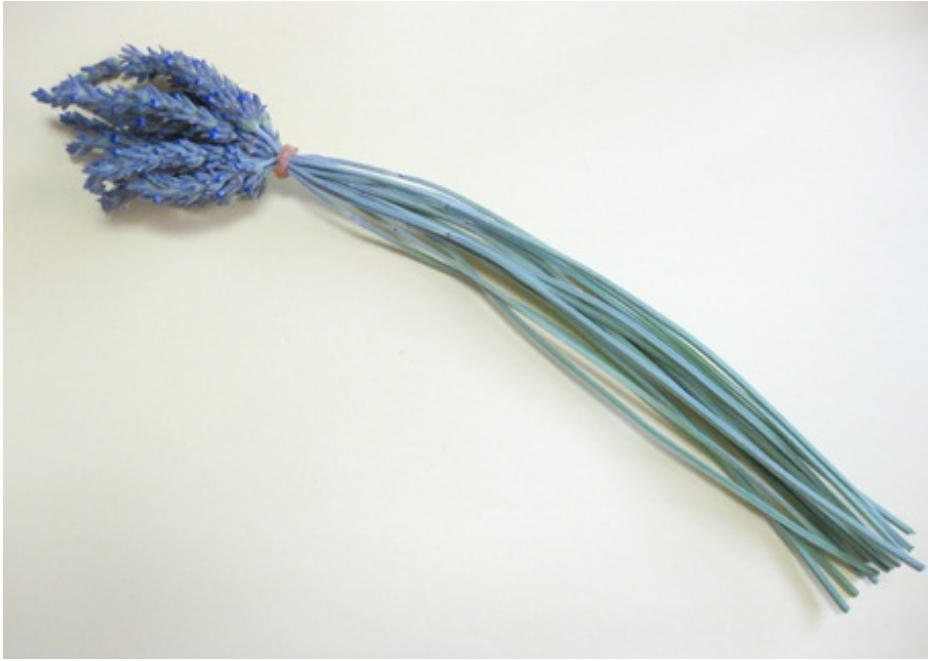
乾燥：すぐに編むと茎に水分が多いため、折れやすいです。

また、水分が多い時にラベンダースティックを
完成させると、乾燥した時にリボンが
かなり緩んだものになります。

また、乾燥させすぎてから編み始めても折れやすいので
乾燥する手前でまだ少し水分も残っている

『しんなり』した時がベスト！です。

いずれにしても、刈り取り時期やラベンダーの種類などで
個体差はあると思いますので、ラベンダーの状態を見ながら
調節すると良いと思います。



1～2日経ちました。



ゴムを外すと、ちょうど折り返しになる部分がしんなりしていて編みやすい状態になっています。



*ラベンダースティック作りに慣れないうちは
目立たない糸をからめて形をまとめておくと、
編みやすいです。



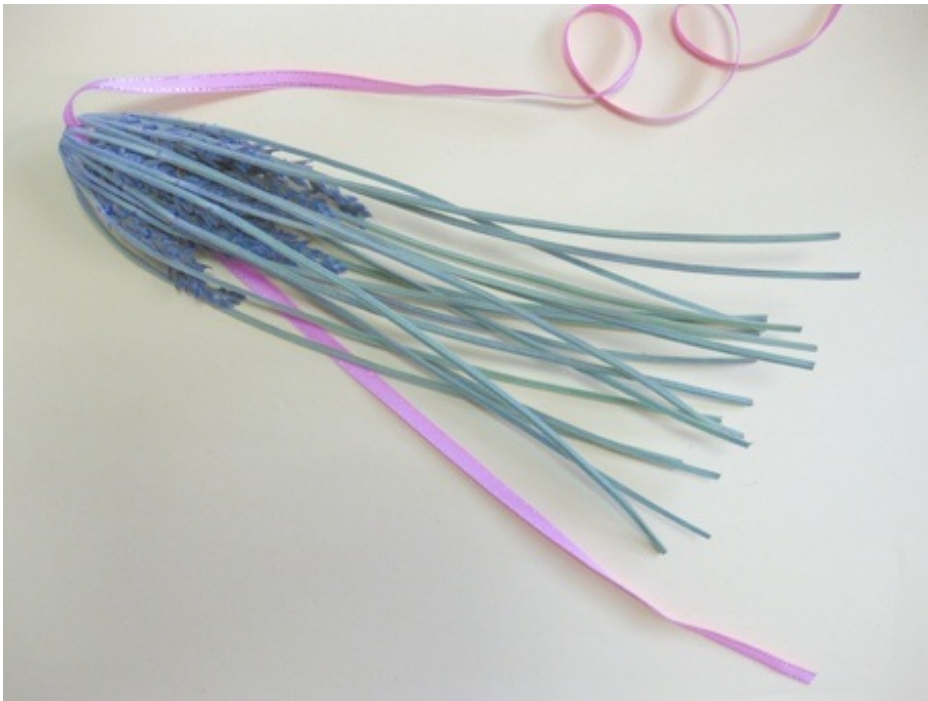
しっかりとリボンを結び付けます。（固結び）
リボンの片方は30cm残しておきます。（最後に蝶結びする時のため）



茎を折り返します。（**ポキッ**と折れないようにゆっくり倒してください）
もし、折れてしまったら奇数本にするためにもう1本切ります。

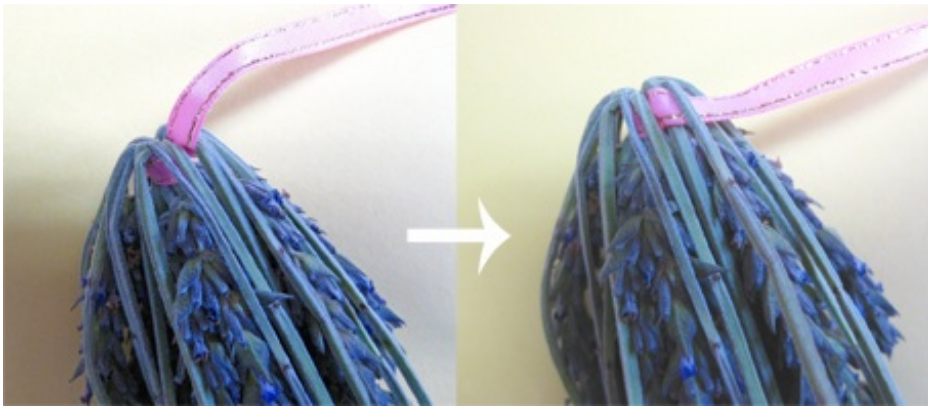


なるべく等間隔で上から見た時にきれいな放射状になるように
心がけながら倒していきます。



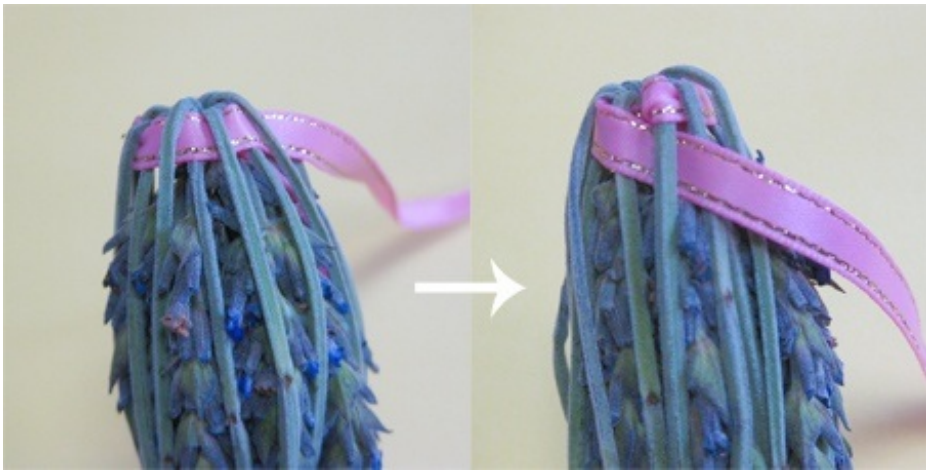
リボンの長い方で編んでいきますので、長い方を茎と茎の間から出します。

リボンの短い方は根元の方に垂らしておきます。

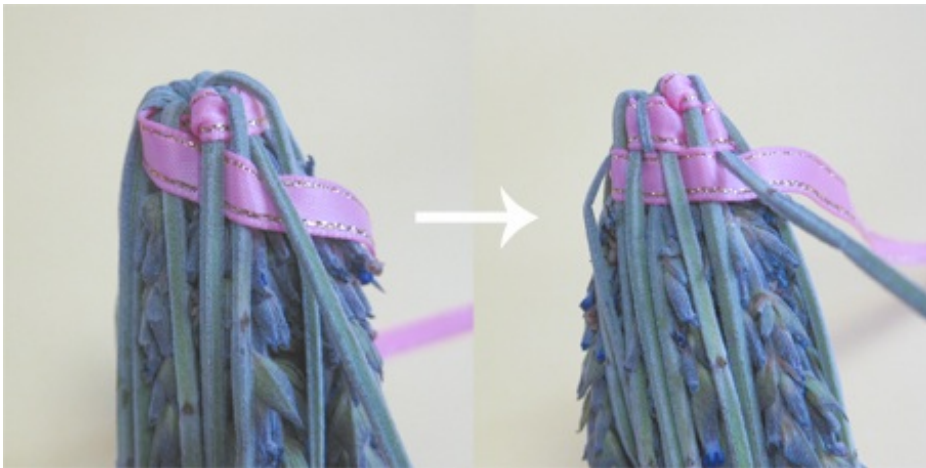


リボンを茎の上、下、上、下、へと交互に通していきます。

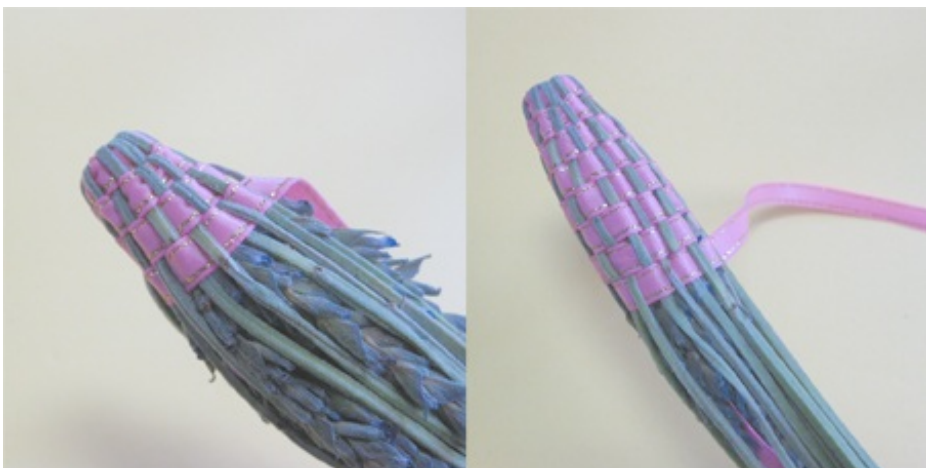
しっかり引き締めながら通します



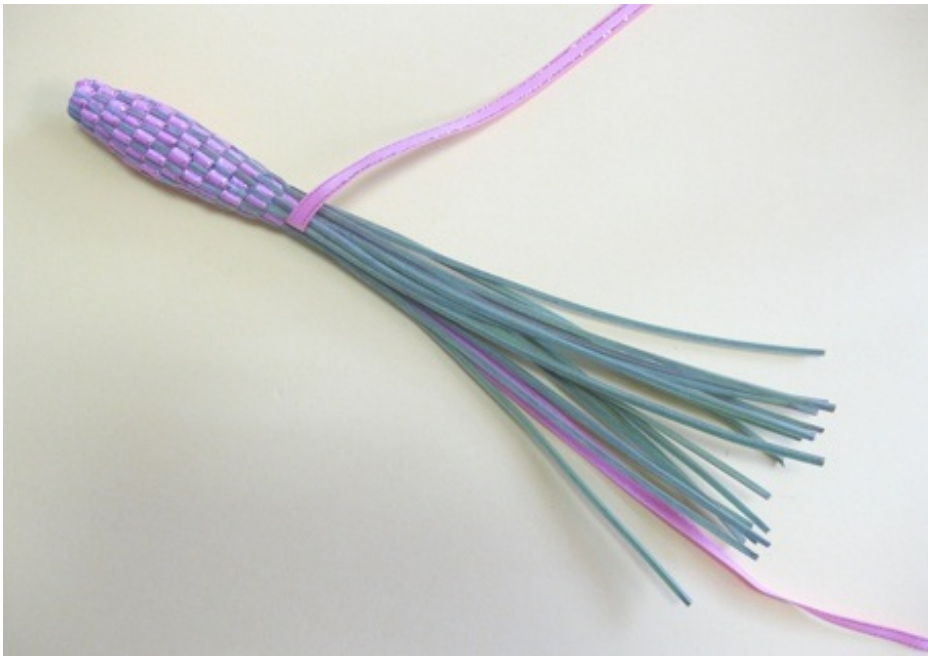
2段目を通す時に1段目に通した同じ茎と互い違いになっていたらうまくいっています。



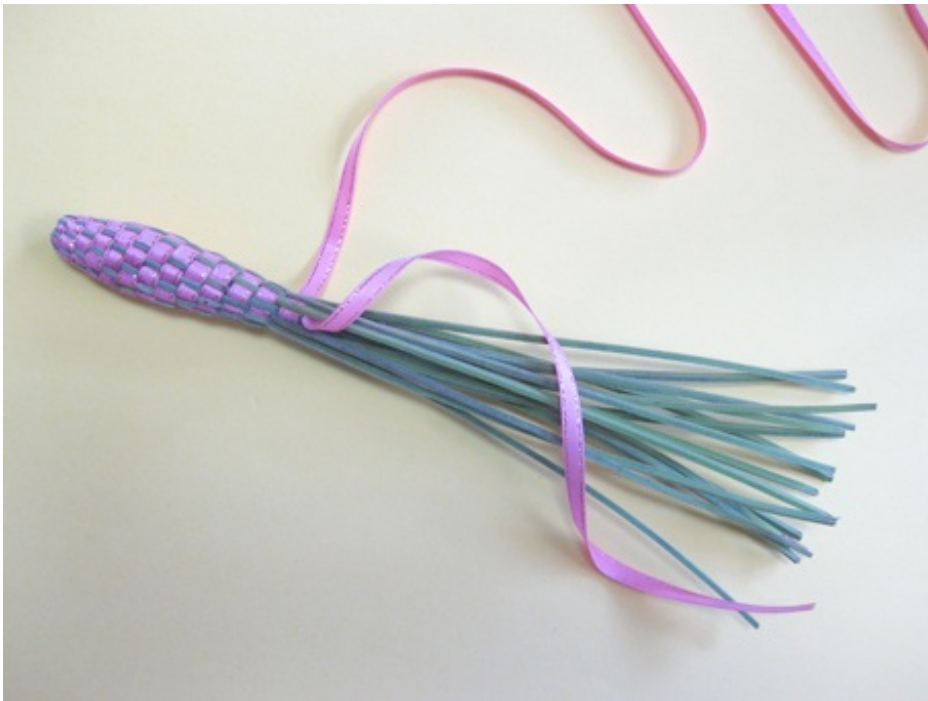
1段目から3段目までは、通し方を間違いやすいので頑張って通していきましょう。
3段目以降は楽に通せます。



しっかり引き締めるのと、リボンとリボンの隙間が開かないように気を付けながら編み進めます。



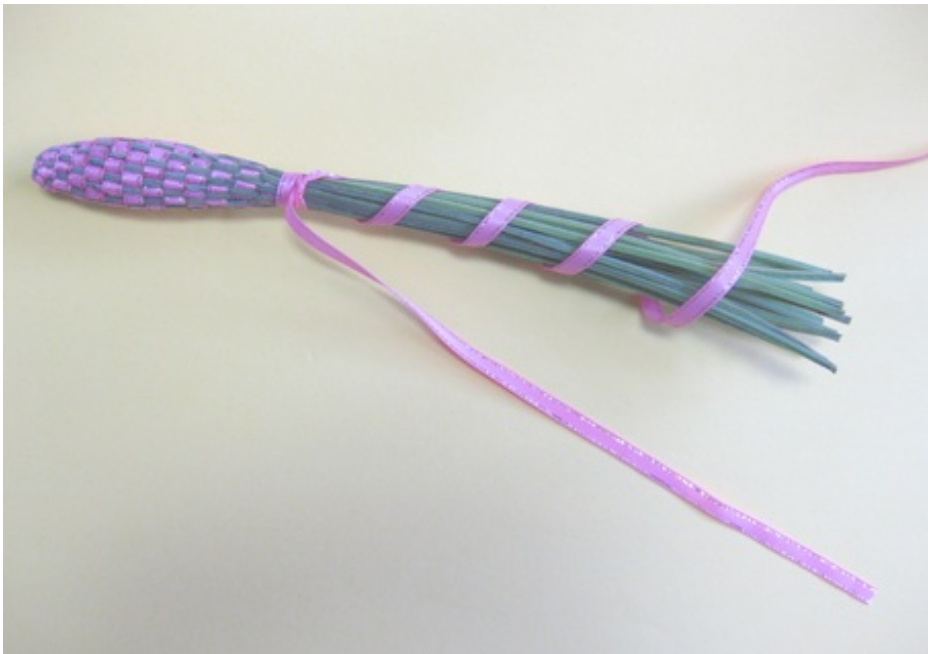
スティックの頭の部分ができました。



長い方のリボンと短い方のリボンを結ぶので、短い方のリボンを長いリボンの近くに出します。



長い方のリボンをしっかりと一回転させてから
短い方のリボンと結わえます。



長い方のリボンを根元に向かってしっかりと
螺旋状に巻き付けていきます。



根元でしっかり3回ほど巻きます。



クロスする形になるようにスティックの頭の方に向かって螺旋状に巻き付けながら戻っていきます。



結び目のところまで戻ったら、また1~2回巻き締めてから短い方のリボンと結わえます。



蝶結びをします。



最後に、根元の茎を切り揃えます。



出来上がり！！

基本の編み方に慣れてくると
茎の本数や、リボンの太さ、
編み方など応用でもっと楽しいラベンダースティックもできます。



リボンの幅は、私が作ってみた感じでは、3mm~9mm幅までは
形良く仕上がりました。
急いで作りたい時は9mm幅で作ると、時間とリボンの長さも
短縮&節約できます。

ちなみに3mm幅ではリボンは270cm、
9mm幅では150cmあると余裕を持って作れます。



手前から9mm、6mm、3mmのリボンを使用。

また、プレゼントなどにする時は、完成してから
2日後位にリボンが弛んでしまった部分をもう1度編み直すと
きれいな仕上がりになります。

頭の部分のリボンの弛みは
目打ちをリボンの下にくぐらせて、引っぱりながら1目ずつ引き締めていきます。

その後、蝶結びにした結び目のところに木工用ボンドを塗って
ほどけないようにしっかり固定します。

作り始めた頃に、しっかり乾燥させずにプレゼントをした事があるのですが、
その後、すぐに洋服ダンスの中に入れられた方は
ラベンダースティックがカビた🦠とおっしゃっていましたので
しっかり乾燥させてからプレゼントした方が良いと思います。





これから、また色々な作り方を公開していきたいと思えます。

最後まで見ていただき、ありがとうございました。



2012年制作追記

最近はこういったレインボーカラーのリボンが販売されているので1本のリボンでカラフルなラベンダースティックが作れて嬉しいですね。

プレゼントにとっても喜ばれ、『レインボカラーのを作って!』と、リクエストも多いですよ。



リボン1本を使って作る基本のラベンダースティック

<http://p.booklog.jp/book/8563>

その他のラベンダースティック

<http://p.booklog.jp/users/mifarg>

著者 : hitomi-art

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/mifarg/profile>

ホームページ : <http://hitomi-art.net>

ラベンダーBlog : <http://lavender.hitomi-art.net>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/8563>

ブックログのパブー本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/8563>

電子書籍プラットフォーム : ブクログのパブー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社 : 株式会社paperboy&co.